

TOTO

TMF47型
TMG47型
TMJ47型


サーモスタットシャワー金具・バス水栓 (自動水止めタイプ)




商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。取付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。


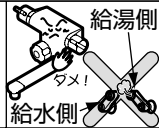





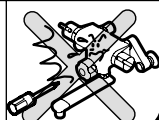
1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください。)



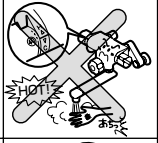

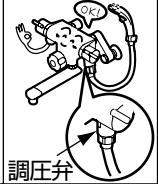


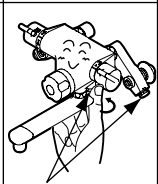
取付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

| 表示 | 意味 |
|---|--|
|  注意 | この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、傷害又は物的損害が発生する可能性があることを示しています。 |

| | |
|---|---------------------|
|  | してはいけない「禁止」内容です。 |
|  | 分解しないでください。 |
|  | 必ず実行していただく「強制」内容です。 |

| 注意 | |
|---|--|
|  | <p>湯水を逆配管しないでください。 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。</p>  |
|  | <p>給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。 85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損し、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>  |
|  | <p>強い力や衝撃を与えないでください。 故障や水漏れの原因になります。</p>  |
|  | <p>修理技術者以外の方は、水栓本体内部を分解しないでください。 故障や水漏れの原因になります。</p>  |

| 注意 | |
|---|--|
|  | <p>フィルター フィルターの掃除をする際は、いきなりフィルターを緩めずに、止水栓を閉めてから行ってください。 湯水が噴き出して、やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>  |
| | <p>目盛り通りの湯が出るよう、必ず温度調節を行ってください。 使用条件によっては目盛り通りの湯が出ず、やけどをすることがあります。</p>  |
|  | <p>クリックシャワー 必ず調圧弁を取り付けてください。 調圧弁を使用しなかった場合、シャワーホース内の水圧が高くなり、シャワーホースが破損したり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>  |
| | <p>寒冷地用 水抜コックは水抜き以外の目的で開けないでください。 水抜コックをいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>  |
|  | <p>寒冷地用 凍結が予想される場所でご使用になる場合は、「9 寒冷地用の水抜き方法」を参照の上、凍結予防を確実に実施してください。 部品が破損し、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>  |

2

仕様

| | | |
|---------|--------|---------------------------------------|
| 給水・給湯圧力 | 使用必要水圧 | 0.05MPa(流動圧) (クリックシャワーの場合は0.07MPa) |
| | 最高水圧 | 0.75MPa(静水圧) (低水圧用シャワーの場合は0.3MPa) |
| 使用最高温度 | | 85℃以下 |
| 使用可能水質 | | 水道水及び飲用可能な井戸水 |
| 使用環境温度 | 一般地用 | 0～40℃ |
| | 寒冷地用 | -20～40℃ (ただし、0℃以下は水を抜いた状態) |
| 用途 | | 一般住宅浴室用 |

3

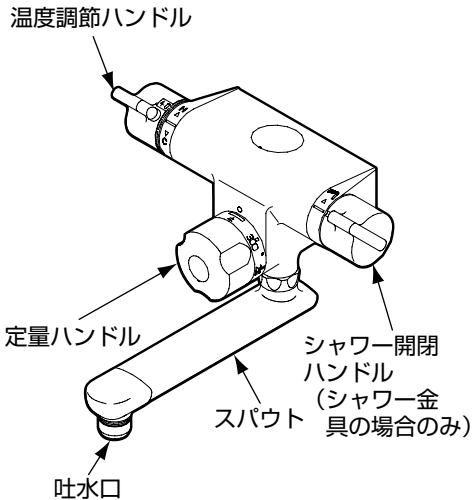
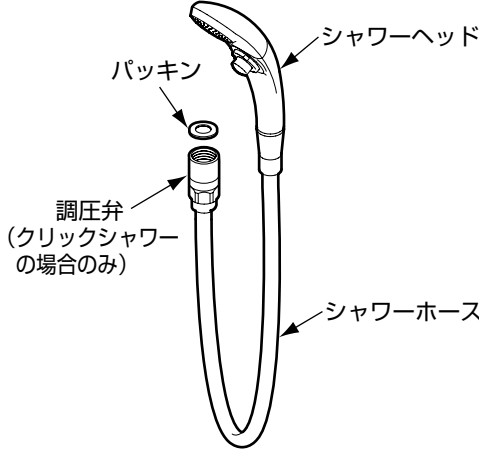
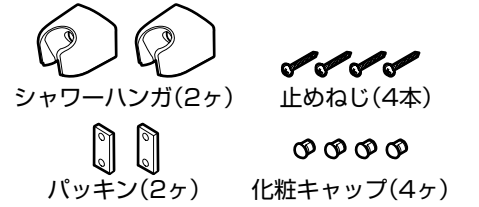
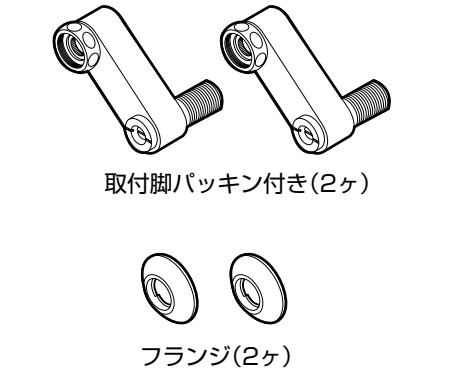
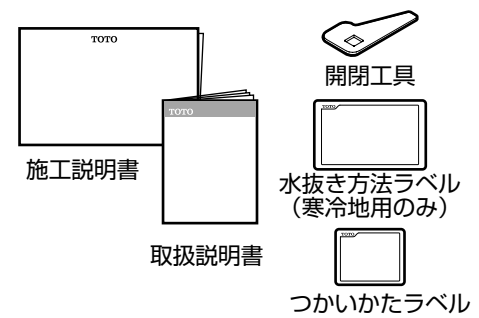
取付け前に

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。快適に水栓をお使いいただくためには、0.2MPa程度の水圧をおすすめします。
- 給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
- 給湯温度は、使用する温度より10℃以上高く設定してください。
- 誤操作などによるやけど防止のため、60℃給湯をおすすめします。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。

4

部品の確認

次の部品があることを確認してください。

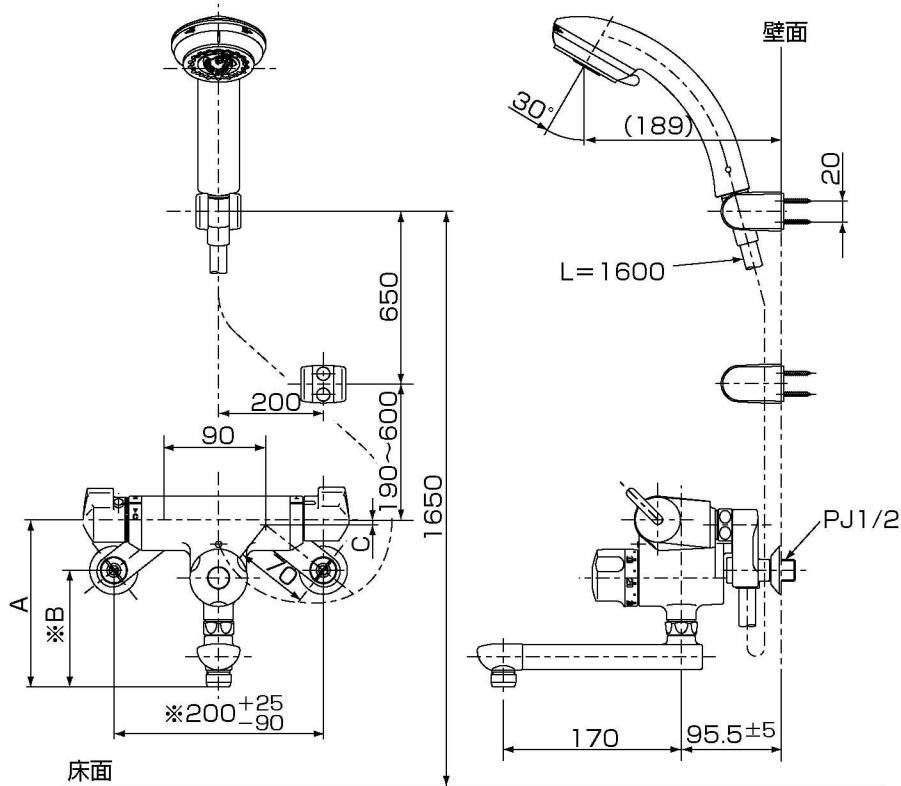
| 水栓本体部 | シャワー部 |
|--|---|
|  |  |
| 取付脚部 |  <p>シャワーハンガ(2ヶ) 止めねじ(4本)</p> <p>パッキン(2ヶ) 化粧キャップ(4ヶ)</p> <p>※TMF47A型、TMG47A型、TMJ47A型にはシャワーは同梱されていません。</p> |
|  <p>取付脚パッキン付き(2ヶ)</p> <p>フランジ(2ヶ)</p> | その他 |
| |  <p>施工説明書 取扱説明書</p> <p>開閉工具 水抜き方法ラベル(寒冷地用のみ) つかいかたラベル</p> |

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

5 完成図

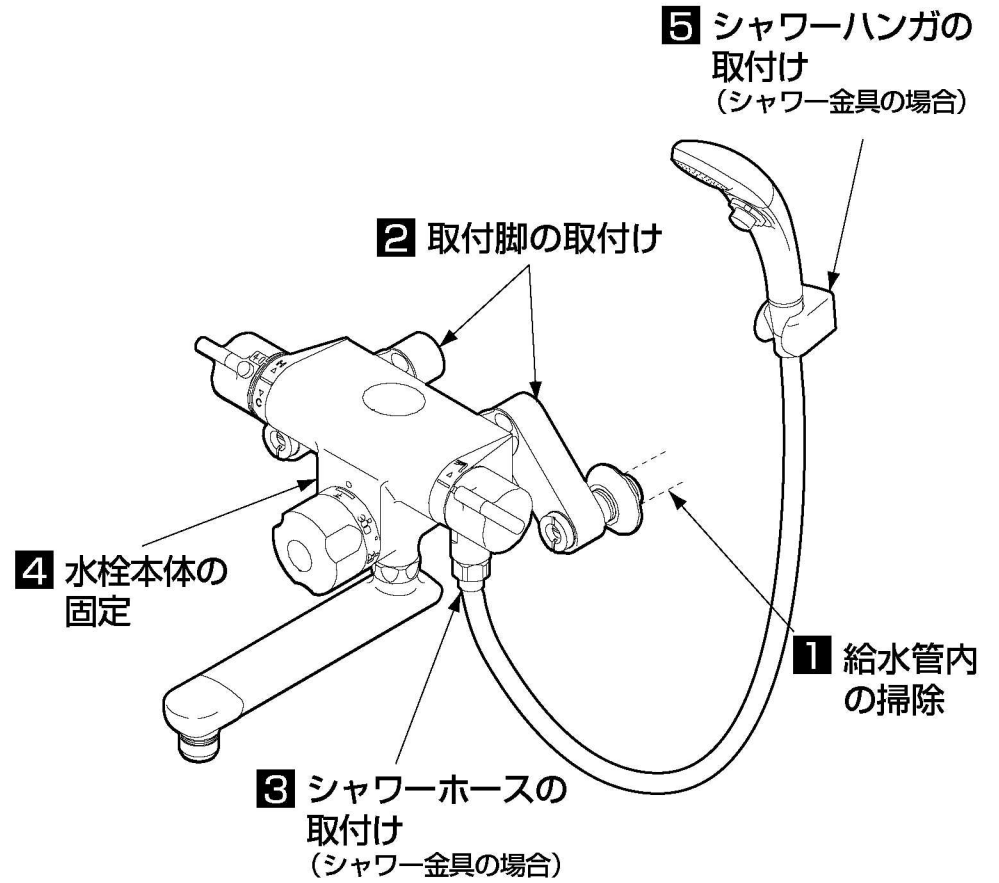
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

※印は配管ピッチが
(標準 最長 最短)の場合です。



| 品番 | A | ※B | C |
|--------|-------|-----------------------------------|---|
| TMF47型 | 159.5 | 112 ⁺²⁵ ₋₂₆ | 5 |
| TMG47型 | 161 | 118 ⁺²⁵ ₋₂₆ | 0 |
| TMJ47型 | 148 | 105 ⁺²⁵ ₋₂₆ | 0 |

6-1 施工手順



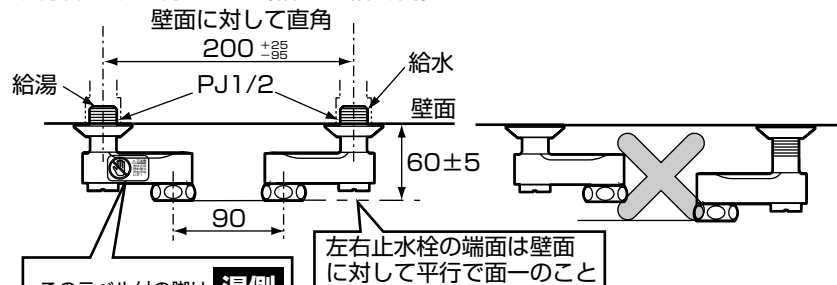
1 給水管内の掃除

取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。

重要

2 取付脚の取付け

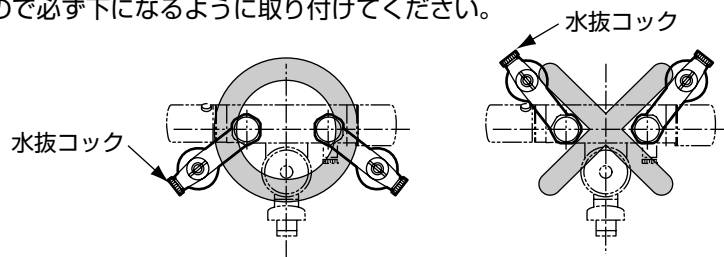
取付脚を取り付ける。(給水・給湯側)



このラベル付の脚は **湯側**



※寒冷地用の場合は取付脚の水抜コックが本体よりも上になると、水抜きができませんので必ず下になるように取り付けてください。



3 シャワーホースの取付け(シャワー金具の場合)

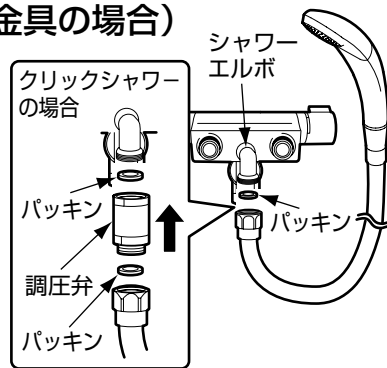
シャワーホースを図のように取り付ける。

注意

●パッキンが入っていることを確認してください。

●クリックシャワーの場合必ず調圧弁を取り付けてください。

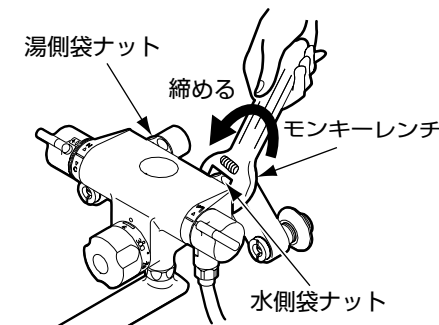
調圧弁を使用しなかった場合、シャワーホース内の水圧が高くなり、シャワーホースが破損したり、水漏れするおそれがあります。



※調圧弁は手締めで確実に取り付けてください。

4 水栓本体の固定

- ①水栓本体を取付脚に取り付ける。
- ②水平になるように調整しながら、湯側・水側の袋ナットを交互に締め付ける。



注意

●緩みがないようにしっかり締めてください。

袋ナットが確実に締め付けられていないと、本体が傾いたり水が漏れることがあります。

●取付脚は回さないでください。

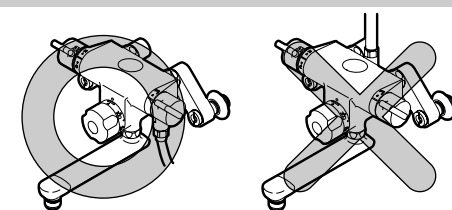
配管との接続が緩み水漏れのおそれがあります。

●パッキンが入っていることを確認してください。

パッキンが入っていないと水漏れのおそれがあります。

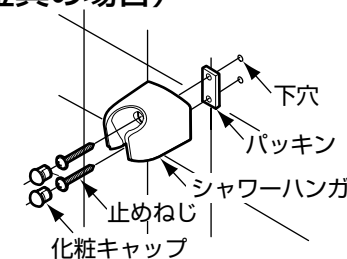
●(シャワー金具の場合) シャワーホースは取付脚の下から取り出してください。

寒冷地用の場合、取付脚の上から取り出すと水抜きができなくなります。



5 シャワーハンガの取付け(シャワー金具の場合)

- ①下穴を開ける。
※取付位置は ⑤「完成図」を参照
- ②パッキンをシャワーハンガの裏面に貼る。
- ③止めねじでシャワーハンガを固定する。
- ④化粧キャップをねじ穴に確実に押し込む。

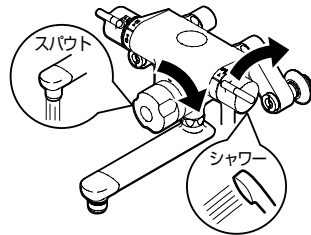


裏面へつづく

施工後の調節

1. 水出し確認

取付けが完了した後、配管部の元栓を開け、スパウト及びシャワーから水が出るか確認してください。



2. フィルターの掃除

取付け後は必ずフィルターを掃除してください。フィルターが詰まると流量が少なくなったり、水又は熱湯しか出なくなるなど、十分な機能が発揮されなくなります。また、お客様にもときどき掃除していただくようにご説明願います。

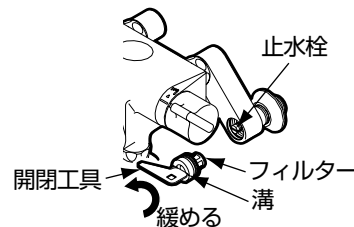


必ず実行

フィルターの掃除をする際は、いきなりフィルターを緩めずに、止水栓を閉めてから行ってください。

湯水が噴き出てやけどや、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

1. 開閉工具で湯側・水側の止水栓を閉める。
2. 開閉工具を溝に差し込み、フィルターを緩めて取り出す。
※フィルターは、湯側・水側の2ヶ所あります。
3. フィルターにつまったごみをブラシなどで取り除く。
4. フィルターを取り付け、止水栓を開ける。

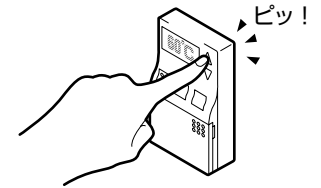


3. 吐水温度の確認

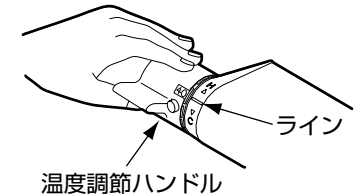
温度調節ハンドルは工場で設定していますが使用条件(給水・給湯圧力、給湯温度)が異なると、表示通りの吐水温度にならないことがあります。吐水温度が表示通りになっているか以下の要領で確かめてください。

1. 給湯機の給湯温度を設定する。

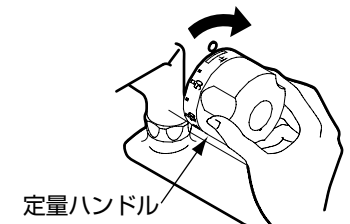
給湯機の給湯温度は、吐水温度より10℃以上高く設定してください。



2. 温度調節ハンドルの目盛り“40”をラインに合わせる。

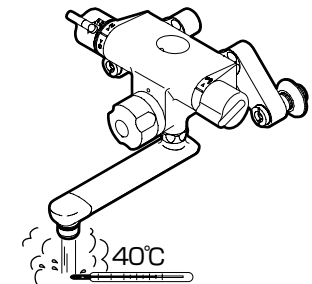


3. 定量ハンドルを時計回りに回す。
スパウトから水が出ます。



4. 吐水温度を確認する。

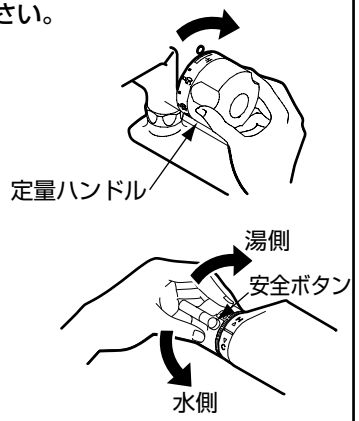
吐水温度が適温(およそ40℃)であればそのままご使用いただけます。吐水温度が適温からずれている場合は、次項を参照の上、温度調節ハンドルを設定し直してください。



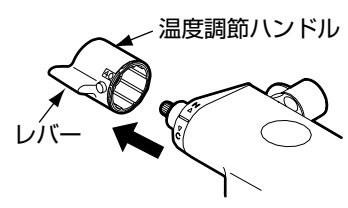
4. 温度調節ハンドルの設定

※吐水温度が表示通りになっていないときに行ってください。

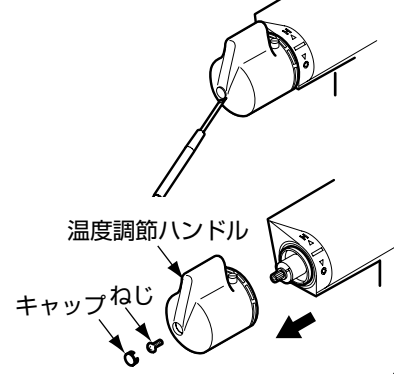
1. 定量ハンドルを時計回りに回す。
スパウトから水が出ます。
2. 温度調節ハンドルを目盛りに関係なく40℃の湯が出る位置まで回す。
温度調節ハンドルは目盛り“40”付近でロックされますので、これより高温の湯を出したいときは、安全ボタンを押しながら回してください。
3. 温度調節ハンドルを外す。



[TMG47型・TMJ47型の場合]



[TMF47型の場合]



豆知識

ハンドルははめ込み式のため、強く引くと抜けます。抜けない場合は、レバーを傷つけないように軽くたたいてください。



豆知識

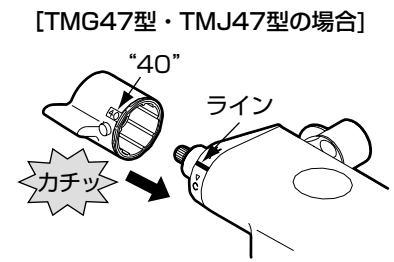
キャップは精密ドライバーなどの先の細いものを使用し、めっき表面を傷つけないように注意しながら外してください。



4. 温度調節ハンドルを取り付ける。

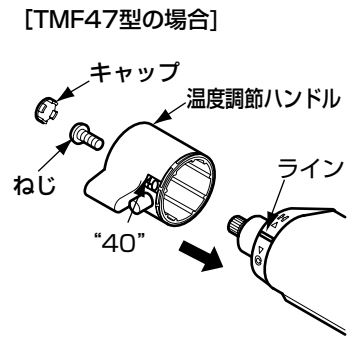
[TMG47型・TMJ47型の場合]

目盛り“40”の文字とラインを合わせて「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

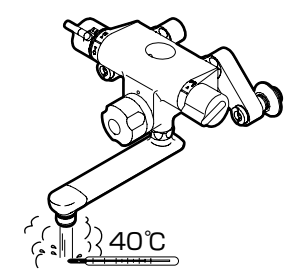


[TMF47型の場合]

目盛り“40”の文字とラインを合わせ温度調節ハンドルをはめ込み、ねじで固定してキャップを取り付けてください。



5. 固定後に40℃の湯が出ているか確認する。



5. 流量の調節

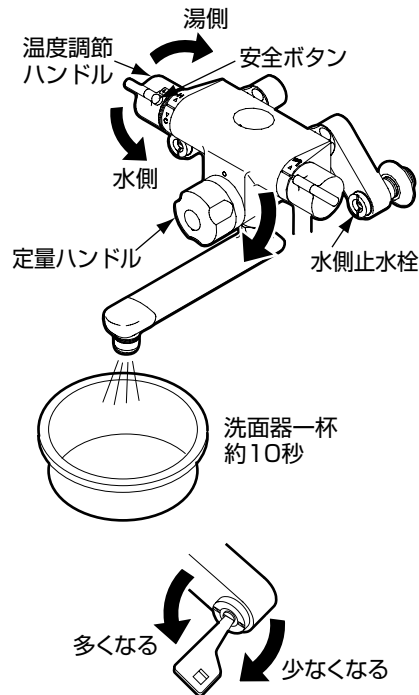
流量が多すぎる場合などは、次の要領で**止水栓**を調節してください。

①温度調節ハンドルを下(水側)いっぱいにし、定量ハンドルを時計回りに回す。

②流量が20L/分程度(洗面器一杯にするのに約10秒弱)になるように水側止水栓で調節する。

※時計回りに回すと流量が少なくなり、反時計回りに回すと多くなります。

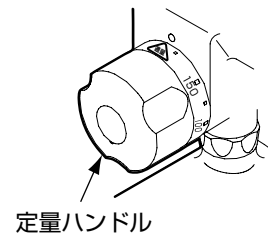
③温度調節ハンドルを安全ボタンを押しながら、上(湯側)いっぱいにし、②と同じように湯側止水栓で流量を調節する。



6. 最大設定量の調節

定量ハンドルの最大設定量を目盛り250(約250L)に設定していますが、最大目盛り300(約300L)まで設定できます。また、設定量を調節しておくで大変便利です。

設定量を調節する前に、実際に浴槽へ湯又は水をためて適量を確認してください。(詳しくは、取扱説明書の「つかいかた」を参照してください。)



点検項目

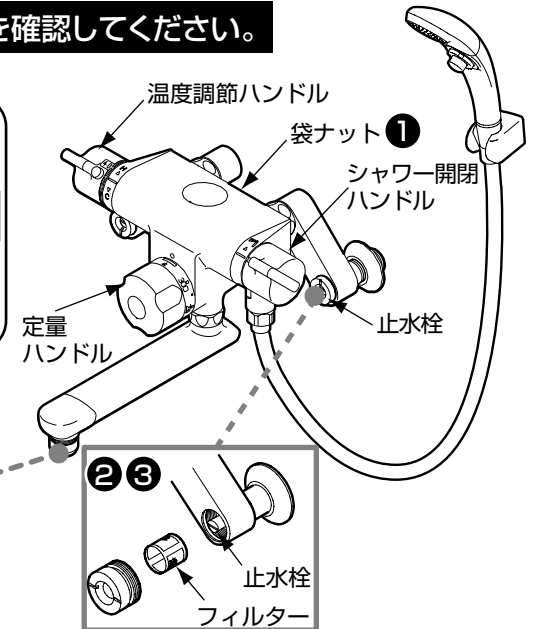
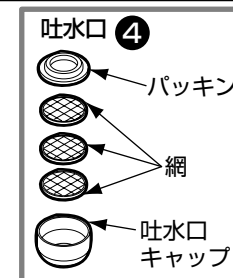
取付けが完了した後、次の項目を確認してください。

ガタツキの確認

水栓本体のガタツキがないか確認してください。

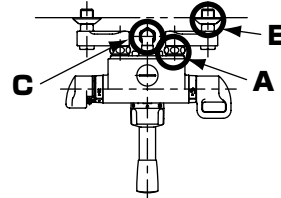
①袋ナットの緩みはないですか？

➡ 6-2 - 4「水栓本体の固定」参照



水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。



A・Cから水漏れがある場合

パッキンが入っているか確認後、再度、袋ナットを締め直してください。

Bから水漏れがある場合

配管に腐食・ひび割れなどが無いことを確認の上、再度取り付け直してください。

流量及び吐水温度の確認

流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

②止水栓は開いていますか？

➡ 止水栓で流量を調節する。

7-2 5. 流量の調節 参照

③フィルターのごみづまりはないですか？

➡ 7-1 2. フィルターの掃除 参照

④吐水口のごみづまりはないですか？

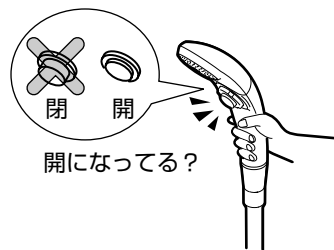
➡ 吐水口の掃除をする。

9

寒冷地用の水抜き方法

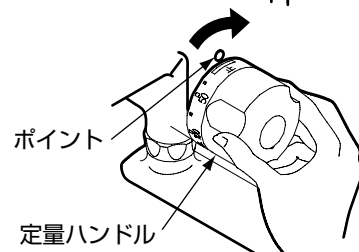
凍結が予想される時期に施工された場合は、水抜きを行っておいてください。
またお客様にも水抜き方法をご説明ください。

1. (クリックシャワーの場合)
シャワーから水を出し、シャワー
開閉ボタンが“開”の状態になって
いることを確認する。

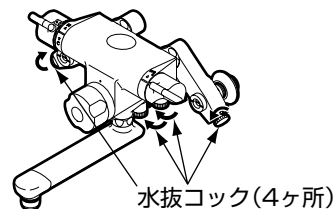


2. 配管部の元栓を閉め、水抜栓を開
ける。

3. 定量ハンドルを ←印以上まで回
す。



4. 水抜コックをすべて開ける。

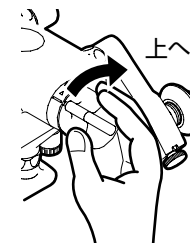


5. 温度調節ハンドルを上(湯側)いっ
ぱいに回して水を抜く。

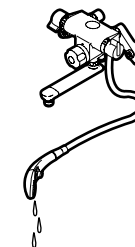


6. スパウトから水が出なくなったら、
温度調節ハンドルを下(水側)いっ
ぱいに回して水を抜く。

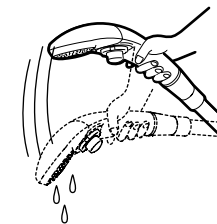
7. スパウトから水が出なくなったら、
シャワー開閉ハンドルを上いっ
ぱいに回す。



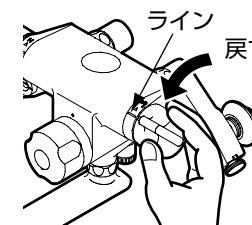
8. シャワーヘッドを床近くに下げ、ホース
内の水を抜く。



9. シャワーヘッドを振って中の水を
抜く。



10. 水抜き完了後は必ず水抜コックを
閉め、シャワー開閉ハンドルをラ
インの位置(水が出ない状態)に
戻す。



※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

再生紙を使用しています。